

平成28年12月8日（木）
生活環境部環境政策課長 玉川 明
（担当：課長補佐 坂場 内線 2943）
生活環境部参事兼防災・危機管理課長 高橋 上
（担当：課長補佐 穂積 内線 2881）
農林水産部畜産課長 永田 裕
（担当：課長補佐 川上 内線 3980）

水戸市千波湖で保護（死亡）された野鳥における鳥インフルエンザ
簡易検査及び遺伝子検査結果について

平成28年12月8日に水戸市の千波湖において保護されたコブハクチョウ1羽の衰弱個体（その後死亡）について、茨城県県北家畜保健衛生所が簡易検査を実施したところA型鳥インフルエンザウイルス「陽性」であり、また、遺伝子検査を実施したところH5亜型の鳥インフルエンザウイルスであることが確認されました。

今後、環境省が鳥取大学において高病原性鳥インフルエンザウイルスの確定検査を実施しますが、検査結果判明まで数日から1週間程度かかる見込みです。

なお、現時点において、病性は未確定ですのでご注意ください。

1 経緯

- ・ 午前9時ごろ、千波湖において（別紙地図参照）個人が衰弱したコブハクチョウ1羽を発見（別紙写真）。県北家畜保健衛生所へ搬送後に死亡し、同所で簡易検査を実施したところ、陽性と判明。

2 今後の対応

現在の対応を引き続き継続する。

<参考> 関連情報

- 環境省のホームページ (http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)